こんなケシを見つけたら 福祉保健所まで連絡を！

ケシの仲間は、通常4月から6月にかけて美しい大きな花を咲かせますが、その一部には、法律で栽培が禁止されているものがあり、誤って庭先などに植えられていることがあります。

自生しているところを見かけたり、心当たりのある方は、勝手に抜かず、須崎福祉保健所までご連絡をお願いします。

不正けしの特徴

①花びらは一重のものや、八重のものなど様々ある
赤、薄紫、白、桃などの色がある
②葉は互い違いに茎につき、茎を抱き込むような形
③葉や茎にほとんど毛がない

詳しくはこちらのQRコードを読み取ってご確認ください。

［連絡先］須崎福祉保健所 衛生環境課 ☎0889-42-2004

2月 学校給食食材の放射能測定

	検査期間	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131
窪川学校給食センター	2/1～5	不検出	不検出	不検出
大正学校給食センター	2/1～5	不検出	不検出	不検出
十和学校給食センター	2/1～5	不検出	不検出	不検出

実 施 日：令和3年2月22日
検査機関：株式会社　日本食品エコロジー研究所
食品分析センター

※不検出とは測定下限値未満（<1.0Bq/kg）であることを示しています。検査に使用する食材は、約1週間分の原材料（調味料を除く）です。一定量を混合試料にして検査します。

季節の風景 4月

郵政記念日

１８７１年４月20日（明治４年３月１日）に、東京・京都・大阪の３都市と東海道線の各駅で、郵便物の取り扱いや切手の発行が始まりました。それまでの飛脚制度に代わり、郵便制度が始まったことにちなむ記念日で、１９３４年（昭和９年）に逓信省（現在の日本郵政グループ）によって「逓信記念日」として制定したことが由来となっています。

その後、逓信省が郵政省・電気通信省の２省に分割された１９５０年には現在の「郵政記念日」として改称されましたが、１９５９年には再び「逓信記念日」に戻されることとなります。そして、２００１年の省庁再編にともなって、現在の「郵政記念日」の名称になりました。本年、４月20日は郵便制度が確立した明治４年から１５０周年を迎えます。

郵便制度が始まった当初は、郵便物の中に入っている現金や荷物の強盗事件が多発したそうです。そのため、郵便配達員は自分の命や荷物を守るために拳銃の所持が法律で認められていたのです。この法律は、明治６年から昭和24年まで護身用の拳銃である「郵便保護銃」と呼ばれる短銃を所持し、郵便配達員は自分の身を自分で守っていたのです。現在の日本では考えられない治安の悪さだったのです。

今月の人まっち

カレー愛でチャレンジします！

吉岡 亜紀（よしおか あき）さん

先月に続いて、地域おこし協力隊の隊員をご紹介します。吉岡さんは着任３年目に入ろうとしています。いよいよ最終年です。

吉岡さんは高知市のご出身。母方の祖母が十和の戸口のご出身で、父方の祖母が今も仁井田にいらっしゃるとのこと。四万十町は、吉岡さんにとってはふるさとみたいなものかもしれません。

吉岡さんは、高校まで高知市内で過ごしました。大学は兵庫県の名門・関西学院大学総合政策学部へ。大学卒業後、大阪の花卉市場に就職しました。「職場ではとてもかわいがってもらいました。すごくありがたかったのですが、もっとバリバリやりたい頃だったので、物足りなさを感じていたのと、営業マンに憧れていたんです。それと、東京に行きたかったというのもありました（笑）」

３年後、ビルなどの鳥害対策を専門とする会社に転職。大阪の会社でしたが、念願の東京配属。意気揚々、東京での営業マン生活が始まりました。しかし、歩いて開拓、電話で開拓という実際の新規開拓の営業活動のハードさと難しさを思い知ることに。通勤電車の過酷さも追い打ちをかけました。そこから少しずつ自分を見つめ直しはじめ、本当に好きだったことに立ち返ることを決意。絵を描くことや、デザインが好きだった吉岡さんは、デザインの学校へ。そしてｗｅｂデザイン専門の派遣会社に登録し、芸能プロダクションの「ホリプロ」でｗｅｂの仕事を担当することになりました。

１年半ほど経って「もう東京に疲れてしまっていました。高知に帰りたい」と思うようになり、これまで培った経験を、協力隊で活かすことを選択したということです。

ところで実は、吉岡さんは大のカレー好き。わざわざネパールまで食べに行ったというくらいのカレー愛！カレー屋さんに就職することも考えたことも。そんなこともあって、チャレンジショップでカレー屋さんをやることに決まりました。「食材が豊かな四万十町で、地元の材料を使ったカレーを作って、この町の人たちに提供してみたい」

吉岡さんのカレー愛がたくさんの町民に届きますように！

▲大阪時代には絵の展示会もやってました！